

連合「なんでも労働相談ダイヤル」(☎ 0120-154-052)
2019年1月 相談集計報告

○全体の特徴

- 全体で908件の相談が寄せられた。年代別では40代、50代が全体の60%を占めた。
- 業種別については、「医療・福祉」(115件・19.4%)が最も多く、「サービス業(他に分類されないもの)」(112件・18.9%)、「製造業」(80件・13.5%)と続いている。
- 相談内容別では、「パワハラ・嫌がらせ」(132件・14.5%)が実に11カ月連続で最も多かった。情報源・ルートでは「ホームページ」が全体の約70%(569件・68.8%)を占めた。
- 具体的な相談では、「私は睡眠障害の持病があり、主治医からも時間外労働を止められている。しかし上司に話しても一向に聞き入れてくれず、体調不良で月に数日、欠勤してしまう」「3月末で退職することが決まっている。残りの年次有給休暇(40日)を消化したいと上司に伝えても、明確な返答をしてくれない。どうしたら年休を消化できるのか」などが寄せられた。

		2019年			2018年		
集計対象期間		1月1日～1月31日			1月1日～1月31日		
受付件数(受付件数のみ報告分含)		908			872		
報告(本部・地方)数		48			48		
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	
性別 (未報告除く)	男性	472	52.0%	男性	453	51.9%	
	女性	435	48.0%	女性	419	48.1%	
	その他	0	0.0%				
年代 (不明除く)	10代	3	0.5%	10代	3	0.5%	
	20代	58	9.1%	20代	73	11.5%	
	30代	111	17.4%	30代	140	22.0%	
	40代	222	34.9%	40代	213	33.5%	
	50代	160	25.1%	50代	138	21.7%	
	60代	72	11.3%	60代	61	9.6%	
	70代	11	1.7%	70代	7	1.1%	
雇用形態 (不明除く)	正社員	454	53.4%	正社員	427	52.8%	
	パートタイマー	135	15.9%	パートタイマー	129	16.0%	
	アルバイト	59	6.9%	アルバイト	39	4.8%	
	派遣社員	51	6.0%	派遣社員	53	6.6%	
	契約社員	81	9.5%	契約社員	76	9.4%	
	嘱託社員(再雇用含)	11	1.3%	嘱託社員	12	1.5%	
	臨時・非常勤職員	9	1.1%	臨時・非常勤職員	7	0.9%	
	その他	50	5.9%	その他	65	8.0%	
業種(上位) (不明除く)	1位	医療・福祉	115	19.4%	医療、福祉	108	19.1%
	2位	サービス業(他に分類されないもの)	112	18.9%	サービス業(他に分類されないもの)	88	15.5%
	3位	製造業	80	13.5%	卸売・小売業	79	13.9%
	4位	卸売・小売業	71	12.0%	製造業	73	12.8%
	5位	運輸業	63	10.6%	運輸業	69	12.1%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	パワハラ・嫌がらせ	132	14.5%	パワハラ・嫌がらせ	109	12.5%
	2位	解雇・退職強要・契約打切	85	9.4%	解雇・退職強要・契約打切	85	9.8%
	3位	雇用契約・就業規則	82	9.0%	退職金・退職手続	65	7.5%
	4位	退職手続	77	8.5%	雇用契約・就業規則	61	7.0%
	5位	年次有給休暇	64	7.1%	年次有給休暇	53	6.1%
情報源・ルート (不明除く)	新聞・雑誌	15	1.8%	新聞・雑誌	17	2.4%	
	ラジオ・テレビ	9	1.1%	ラジオ・テレビ	13	1.8%	
	ビラ・チラシ・パンフ(折込含)	55	6.7%	ビラ・チラシ・パンフ(折込含)	97	13.7%	
	ホームページ	569	68.8%	ホームページ	355	50.1%	
	SNS(フェイスブック・ツイッター)	7	0.8%	SNS(フェイスブック・ツイッター)	10	1.4%	
	紹介	56	6.8%	紹介(労基署等)	54	7.6%	
	その他	116	14.0%	その他	162	22.9%	

【参考】2019年1月 連合本部 インターネット労働相談受付件数 43件